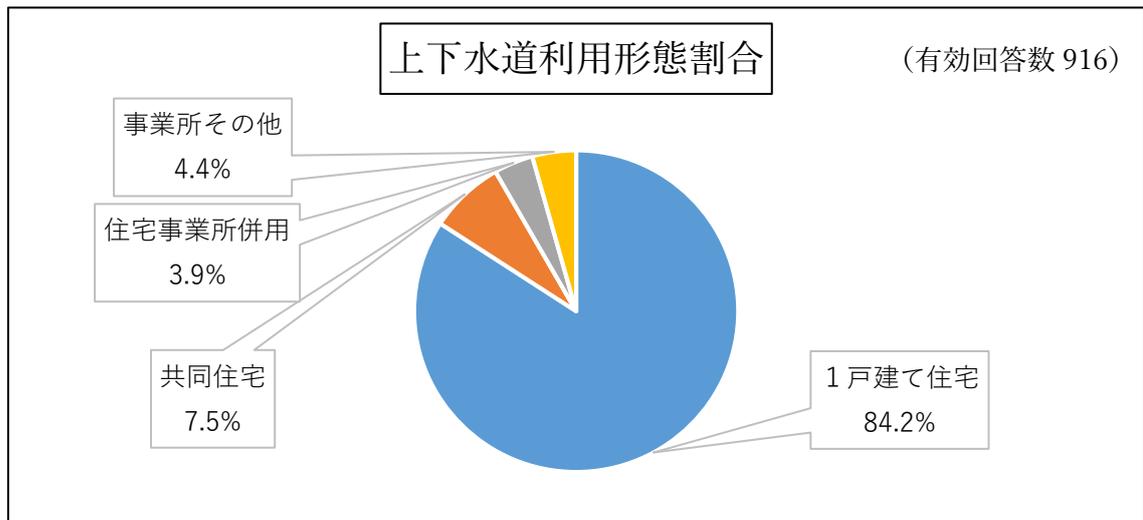
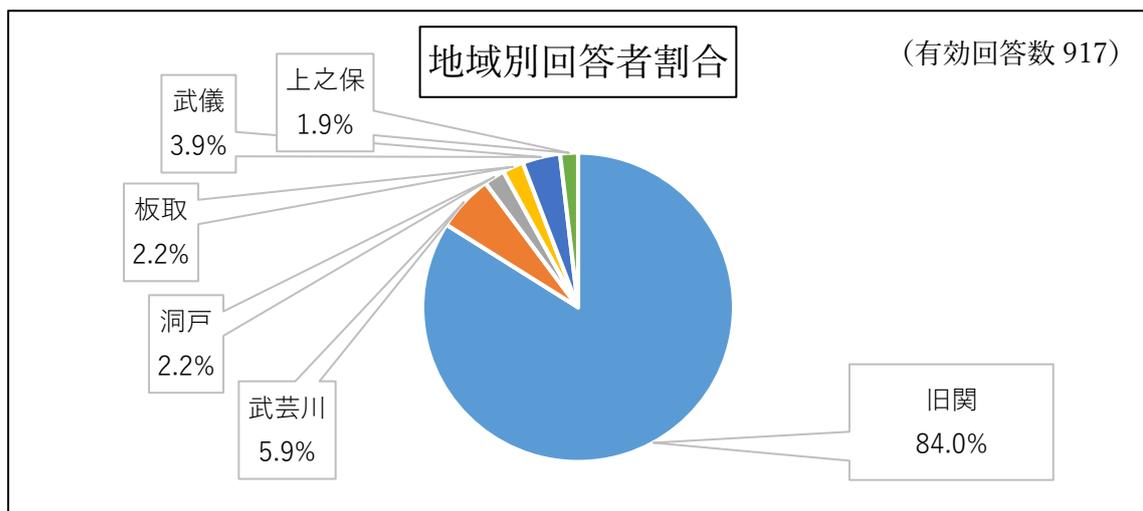
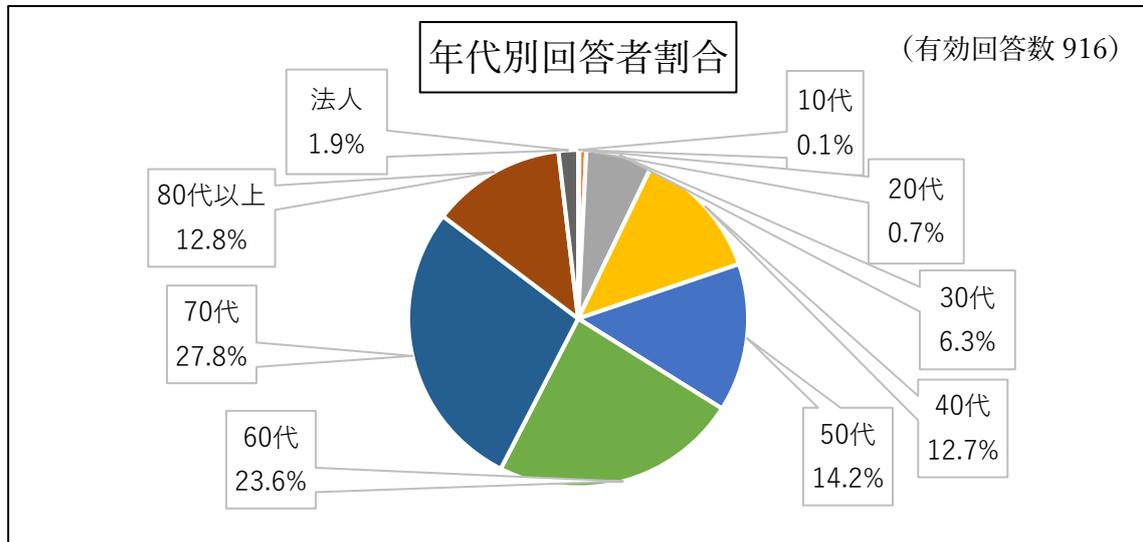


上下水道 市民アンケート結果

令和3年12月 関市基盤整備部水道課、下水道課

① 回答率、回答者情報

回答率 46.1% (922件/2000件、上下水道両方契約者、約31,100件の約3.0%の回答)

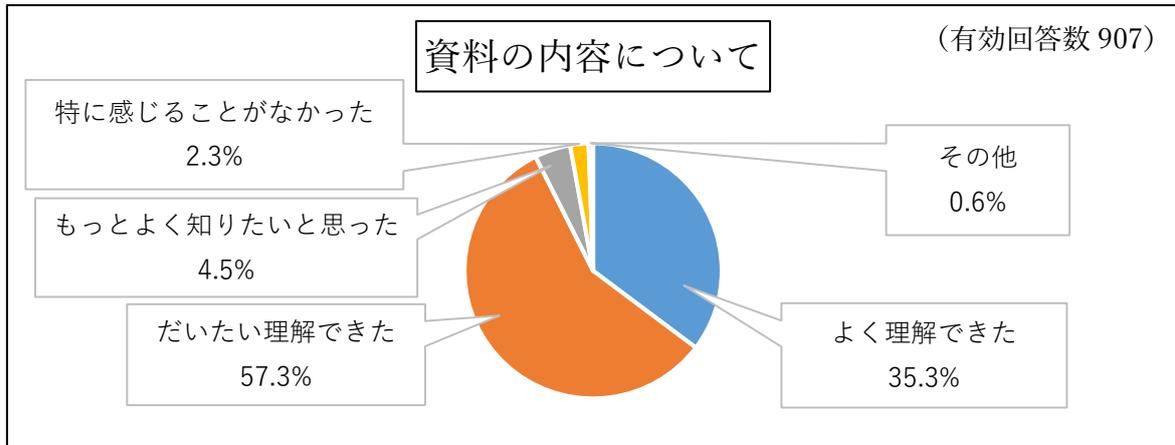


対象者を無作為抽出したため、各回答について実態に応じた割合が得られていると考える。年代別において高齢者の割合が高いことについては、調査世帯内で回答を作成した方の年齢が高く推移したことが考えられる。

上下水道 市民アンケート結果

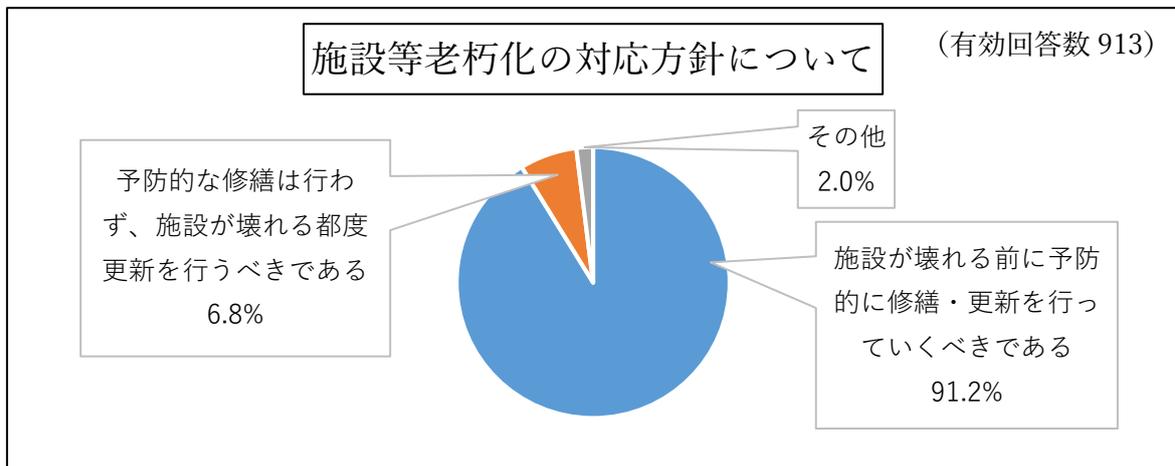
令和3年12月 関市基盤整備部水道課、下水道課

② 上下水道「いまとこれから」について



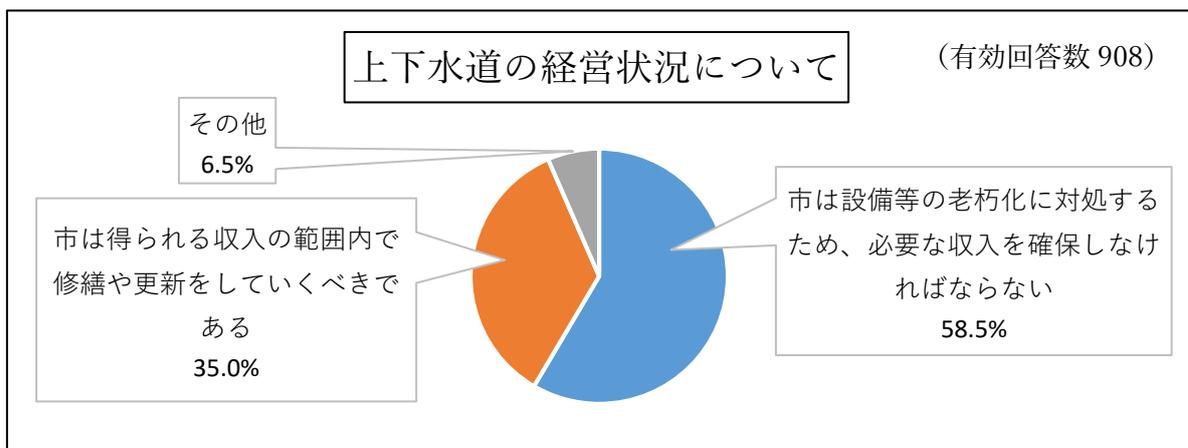
資料の内容について9割以上の理解者を得られた。

→施設等老朽化進行・財政面の課題を伝えるのに十分に平易明瞭な内容だったといえる。



施設等老朽化対応について予防的(積極的)に行うべきとの考えが9割と非常に大きかった。

→上下水道事業側の考え方に使用者側の考えも一致したといえる。



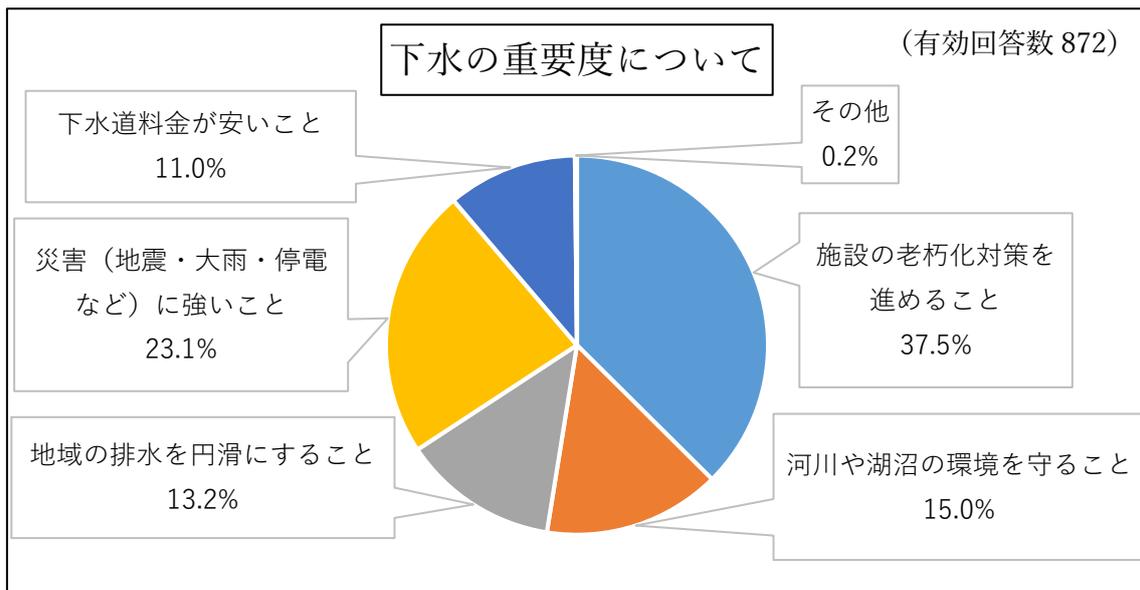
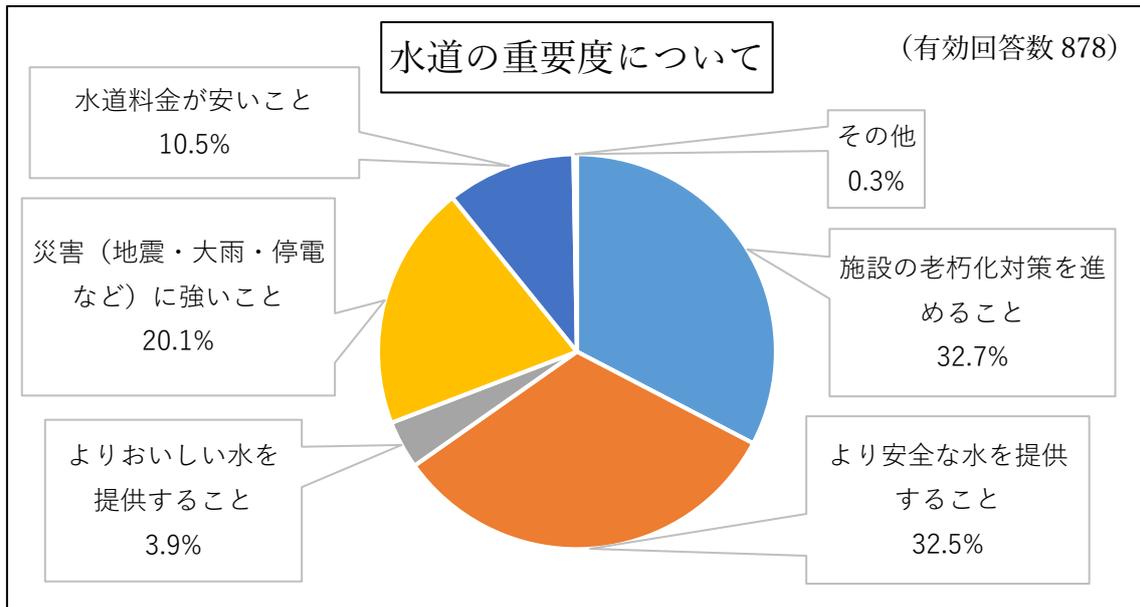
施設等老朽化に対処するための財源確保について積極的に行うべきとの意見が最も多かったが、これに対し、現状収入の範囲内という意見も全体の1/3ほど見られた。

→財源確保の必要性が多くに認識されたが、財源確保(料金転嫁を推測)に対して一部に慎重な意見もあった。

上下水道 市民アンケート結果

令和3年12月 関市基盤整備部水道課、下水道課

③ 関市の水道・下水道について



上下水道を通じ、老朽化対策を進めること・災害に強いことを選択された割合が高かった。料金が安価であることを求めた割合は約1割あった。

→上下水道を通じ、重要度を安価性よりも安心・安全・安定性に求めていることがいえる。